



# 海のたより



理事長杯ヨットレース  
第2マークの攻防、トップ回航は優勝艇のランナーII

目次	行事予定
表紙 第18回理事長杯ヨットレース P 2 ランナーII優勝記 P 3 理事長杯各艇コメント P 4 蒲郡マリンカップヨットレース P 5 マリンカップ成績表 P 6 アニメ映画コクリコ坂から	9月11日 佐久島レース(早朝) 9月15-19日 プレ国体(海陽沖) 9月25日 9月スモールクルーザーレース 10月2日 デニスコナーカップ 10月16日 MCC・LMYC合同レース 10月30日 JSAFチャンピオンシップ 11月5-6日 JSAFチャンピオンシップ

# 第18回理事長杯ヨットレース

ランナーII 南原

今日のメンバーは5人、やや少ないかな。マリン広場の艇を下ろし体験乗船のゲストも到着したので10時過ぎに旧ハーバーを出港。海陽に到着してみると、ホーネット、アルミス、ルートリス、オデッセイなどなど総勢10艇くらい。いつもながら早い艇にいかにか邪魔されない展開にするかが重点課題。

スタートラインは本部船側がかなり有利か？有利な上側は混雑かと思いきや下に流していった艇が多く空いた上イチからピツタリのスタート。クリアな風を走り出してまずは第一関門をクリア。

上り角度から見ると風がスタート前よりもやや左に振っているか？そう考えている内にさらにヘッダーを感じてたのでポートにタックしてリフトを走ることに。

ここで状況を整理すると、下目から出たホーネット、アルミス、ルートリスとは離れていて、オデッセイは出遅れたようで後方に。しばらくはクリアに走れそう。次の振れは・・・期待通り右への振れ戻り。ヘッダーが入ったところでタック。これで左の3艇をかなりリードした様だ。その後アルミスがポートへ返していい角度で寄ってきた。間もなくランナーにも左のシフトが到達。

今ならアルミスの前を通れるが、左に出ると次の展開が難しいと考えて下受けタックで右をキープ。すると再び右にシフト、先程の下受けが生きた。着実にタックしてリフトを走る。今日はずっとリフトばかりを走っている事になる。

しばらくスターボを走る展開のなか、後方でタックしたアルミスが風上側に追いついてきた。その結果、次の左振れはアルミスが返すのを待ってやっとタック。アルミスの左手側の位置取りとなり、次に右振れがくればアルミスが前に出るだろうから、ここで強運も尽きたかと思った。

ところが何とも想定外、左からのブロー。ランナーとルートリスだけが恩恵を受け、終いには立標まで一直線のコースとなって、なんとトップ回航。何年に1回有るか無いかの大当たりであった。

その後は第3レグのスピンドで多少手間取ったものの大きなミスも無く、3位でフィニッシュ。総合成績は、乗った本人もびっくり、かなりの時間差で優勝でした。勝因はやっぱり1上までが出来すぎだった事でしょう。準優勝がホープで、1・2フィニッシュ。

改心の結果にアフターパーティーでは食べるのを忘れてしゃべりすぎでした。(笑)



トップで1マークを回航するランナー



優勝ランナーとホープチーム

艇名	TYPE	所属	MRC	着順	所要時間	修正時間	総合順位	MCC順位	SCR順位
Runner II	Yamaha 30SII	MCC	0.930	3	1:29:12	1:22:57	1	1	
Hope	YAM21C	SCR	0.817	6	1:44:36	1:25:27	2		1
Armis 5	J/V9.6CR	MCC	1.012	1	1:27:00	1:28:03	3	2	
Odyssey	Tsuboi IMS950	MCC	0.980	4	1:30:08	1:28:20	4	3	
Hornet	Seam 31	MCC	1.013	2	1:27:35	1:28:43	5	4	
Lutris	Slot 31	MCC	0.991	5	1:31:49	1:30:59	6	5	
Viking	X79	SCR	0.885	7	1:45:21	1:33:14	7		2
HAYABUSA	Far727	SCR	0.861	9	1:48:58	1:33:49	8		3
オセアニッド	J29		0.953	8	1:45:41	1:40:43	9		
すなめり	Far727		0.861	10	2:01:42	1:44:47	10		
ドンキー	YAM21C		0.817	11	2:16:20	1:51:23	11		

# 理事長杯ヨットレース 各艇のコメント



## ランナー

今日はスタートから1上まで、振れタックが完璧でした。  
タックする度にリフトを走ってどんどん前に出て快調でした。



## アルミス

スピンを使うかジブを使うかの選択が難しかった。結果的には他艇と反対  
の選択になってしまった。



## オデッセイ

(伊勢谷) 今日は2位の予定であったが・・・オデッセイの新人を紹介します・・・

(新人女性) ウィルスオデッセイに乗せていただいて2、3度目のゲストです。

今はまだ何も分からず男性の世界へ間違っ入り込んでしまったような気分です。ヨットは専門用語も物理も分  
からない、イメージのみで乗せていただくには奥が深すぎると感じております。

伊勢谷船長さんもよくおっしゃっていますが、「日本は船の歴史がない」その通りだと思います。受け入れる文化  
がないのでしょうか。

「海」と「風」と「日に焼けた素敵な仲間」以外の魅力を理解できるまで続けられるかどうか不明ですが、  
出来る限り乗せて頂けるように楽しみたいと思います。

## ホーネット

パールレース仕様で決めたゼノアを使わないでヘッドセールはNo.2、その代わりに大きなスピンで  
フリーに強いセール選択のまま今回の理事長杯に参加しましたが三河湾のレースではやっぱりゼノア  
が必要かと思っています。あとは大きいスピンを使うかどうかは今後の課題です。



## ルートリス

一番下マーク寄りでのスタートでしたが上り角度がよく、艇速も出て第1マークまで順調に進みまし  
た。

マーク回航後、スピンをあげるかの判断では前のアルミスが手間取っておりジブのみでも艇速がでて  
いたのでそのまま第2マークまで進めました。

第2マーク回航後の復路もジブで進め第3マークで2位に、これはと思いながらマーク回航後のスピン段取り  
ミス・・・これで一気に最下位、残念な結果に終わりました。



## ホープ

スタートはいいポジションでスタートしたものの30フィートクラスの船に風をとられて苦労しまし  
た。

風の振れに合わせてタックしフレッシュウインドを掴みレースが出来たのがよかったです。

## バイキング

今夏の終りを飾るレースを速い大型艇に混じって走りました。最後のマークで後ろを見ると後続はな  
く、夏の最後のレースは負け戦かと思っておりましたが最終レグで助っ人に乗って下さったアルミスの  
梅村さんと杉浦さんと早川君の努力でスピンランをうまく走りスモール2位になれました。

ホープの走り方にはニューセールにした事を考えても脱帽です。



## はやぶさ

経験、実力、全てが及ばず残念ですが、次回は優勝を目指してトレーニングしてきます。  
未だ若いメンバーですので。

# 第13回蒲郡マリンカップ

## レーサークラス総合優勝 チェスナット

ヨットレースの世界、優勝は難しい。There is no second. 二位には成れる。どんな草レースでも一位は難しい。今回は神が我々に味方した。努力だけでは勝てない。運が必要だ。

セールは茶色いがつぎはぎ、そっと上げないと破れる。スタート時の漁夫の利。本部船側の上スタートを目指した。上下で抗議している船は下へ流れた。そこに空間が開いた。そこへ飛び込む。ジャストスタート。小島東の航路ブイ、なんとスターボの一本コース。アルミスブランケットにして一番上で皆を押さえる。黄色ブイを過ぎても片登り。クルーザークラスが南のブイを回ってスピンのポートで下ってくる。こっちはスターボ。南マークを半時計で回りスピンアップ、クルーザークラスの船にどんどん追いつく。見かけの風向き80度を切り、スピンではぎりぎりの登り。風向きが変わらないことを祈る。南西5から9ktの風、チェスナット得意の風だ。今回は名鉄西浦のケーニッヒが本部船で、ゴールしたとたんにシュプレヒコール。いろんなレースでクラス優勝はあっても、総合優勝はチェスナットセーリングクラブ結成以来、初めての快挙。優勝カップが重かった。



最近、名鉄西浦マリーナでもヨットメンバーが減り、遊ぶ時は合同チーム。今回もチェスナットメンバーと信天翁、テラ、ヨット初体験の方の七人で参加。ミストラルと信天翁は友人艇。蒲郡カップは必ず年間計画に入れる楽しみのレースというか漁港BBQ。MCC運営の皆様に感謝します。楽しい夏の思い出となりました。ありがとうございました。名鉄西浦マリーナにも遊びに来てください。

ヨットCHESTNUT JPN5157 佐藤公治(名鉄西浦ヨットクラブ)

## クルーザークラス総合優勝 ホープ

例年通り夏真っ盛りのマリンカップ。今年も暑い。三谷漁港に回航するとちょうど艇長会議が始まる頃で、プログラムが配られていた。早速クラス分けを見てみると、はやぶさ、キャロルと同じC1クラス。クラス3艇はちょっと寂しいが、先月のスモールでははやぶさに完敗しているので今日は勝たなきゃ!

海上に出ると観覧の艇も写真撮影する艇もいて和気藹々、のんびりな雰囲気もマリンカップのいいところ。

スタート時間が迫ってきたところでコミッティーが動いてラインの作り直し。風が弱いので離れすぎないように注意(^\_^)

スタートはC2クラスの2艇と同時。風向きを見てスターター側から出ようと近づいて、C2の百恵とコミッティーの間のほんのわずかな隙間に飛び込んでジャストスタート。おかげでクリアな海面を走って快調。はやぶさ、キャロルはアウトター側から出ており、この2艇にあまり遅れることもなく順調に小島ブイへ。

小島ブイを過ぎてからは、風がこちらにシフトしはじめて少しずつ先行し、立標はトップ通過。後はずっとスピンの一本コース。いつもならすぐに追いつかれる後続のレーサークラスとも開いているので、今年こそはファーストホームなるか!?!と期待が膨らむ。

島の近辺を通過する際に細かく振れが入ったものの、ほぼ真っ直ぐフィニッシュへ。後続に追いつかれることなくラインへ飛び込み念願のファーストホーム。総合成績にも期待が出来そう。

結果としてはC1クラスの1位でクルーザークラスも総合優勝。これでリトルウインディーをかわして単独最多です。なんだかうれし〜。レース後も、おいしいソーベキューに、たんまり賞品ももらって、ほくほくの一日でした。



レース名 第13回蒲郡マリンカップ

日時 2011年8月7日(日)

コース 三谷(スタート)ー小島(東)ー帆走区域灯標ー小島(東)ー三谷(フィニッシュ)

クラス C1 (青)		Start時刻(時:分:秒) 11 0 0													
艇名	Sail No.	クラス	艇種	Marine Cup		Finish時刻			所要時間	修正時間	着順		順位		
				TA	MRC	時	分	秒			秒	秒	C1	青総合	C1
ホープ	6496	C1	YAM21C	780.0	.8170	11	59	43	3583	2927	1	1	1	1	4
キャロル	4177	C1	YAM23	755.0	.8440	12	0	36	3636	3069	2	2	2	2	9
はやぶさ	—	C1	FAR727	740.0	.8610	12	01	33	3693	3180	3	3	3	4	11
クラス C2 (青)		Start時刻(時:分:秒) 11 0 0													
艇名	Sail No.	クラス	艇種	Marine Cup		Finish時刻			所要時間	修正時間	着順		順位		
				TA	MRC	時	分	秒			秒	秒	C2	青総合	C2
ミストラル VI	5479	C2	ブリアン32	710.0	.8970	12	07	14	4034	3618	1	4	1	8	17
百恵	—	C2	YAM31EX	710.0	.8970	12	17	54	4674	4193	2	5	2	10	20
クラス C3 (緑)		Start時刻(時:分:秒) 11 10 0													
艇名	Sail No.	クラス	艇種	Marine Cup		Finish時刻			所要時間	修正時間	着順		順位		
				TA	MRC	時	分	秒			秒	秒	C3	緑総合	C3
パンドラ	101	C3	Ventdefete	710.0	.8970	12	08	42	3522	3159	1	2	1	3	10
すみれII	—	C3	YAM25ML IN	745.0	.8550	12	11	59	3719	3180	3	4	2	4	11
オリブ	246	C3	YAM33	700.0	.9100	12	13	05	3785	3444	4	6	3	6	14
さつき	5277	C3	Baltic 35	675.0	.9440	12	11	11	3671	3465	2	3	4	7	15
サザンクロスII	—	C3	YAM31C	700.0	.9100	12	17	59	4079	3712	5	8	5	9	19
クラス R1 (緑)		Start時刻(時:分:秒) 11 10 0													
艇名	Sail No.	クラス	艇種	Marine Cup		Finish時刻			所要時間	修正時間	着順		順位		
				TA	MRC	時	分	秒			秒	秒	R1	緑総合	R1
へべIII	4825	R1	PION9 F&PB	700.0	.9100	12	04	05	3245	2953	1	1	1	5	6
ハッファロー	3074	R1	YAM30DS	685.0	.9300	12	12	39	3759	3496	2	5	2	9	16
アクティブ	3605	R1	YAM30CII	700.0	.9100	12	17	17	4037	3674	3	7	3	10	18
クラス R2 (赤)		Start時刻(時:分:秒) 11 20 0													
艇名	Sail No.	クラス	艇種	Marine Cup		Finish時刻			所要時間	修正時間	着順		順位		
				TA	MRC	時	分	秒			秒	秒	R2	赤総合	R2
ルートリス	4932	R2	SLOT31	640.0	.9960	12	09	17	2957	2945	1	4	1	4	5
オデッセイ	4832	R2	IMS950	650.0	.9800	12	11	24	3084	3022	3	6	2	6	7
うらなみIX	5075	R2	J/92	645.0	.9880	12	11	12	3072	3035	2	5	3	7	8
クラス R3 (赤)		Start時刻(時:分:秒) 11 20 0													
艇名	Sail No.	クラス	艇種	Marine Cup		Finish時刻			所要時間	修正時間	着順		順位		
				TA	MRC	時	分	秒			秒	秒	R3	赤総合	R3
チェスナット VI	5157	R3	YAM30SN	635.0	1.0030	12	06	09	2769	2777	1	1	1	1	1
ホーネット	5791	R3	SEAM.31	625.0	1.0200	12	06	36	2796	2852	2	2	2	2	2
アルミス5	4774	R3	J/V9.6	625.0	1.0200	12	07	20	2840	2897	3	3	3	3	3
サマースター	3607	R3	DAVIDSON34	635.0	1.0030	12	16	41	3401	3411	4	7	4	8	13

MCC海のたより9月号・MCC海のたより9月号・MCC海のたより9月号

# 映画「コクリコ坂から」

スーパーウェーブ・長坂



この夏公開のスタジオジブリ作品の「コクリコ坂から」を見てきました。

僕の感想はとても良い映画で超お勧めの映画です。

内容は映画評論家にお任せして、この映画の中で国際信号旗が重要な役割をしています。

ヨット乗りいや船乗りならもちろん良く知っている国際信号旗ですよ。映画の冒頭で素敵な少女がこの信号旗のU旗とW旗を掲げるシーンから始まりますが、このU・W旗がこの映画の流れの中でつねに考えさせられるシーンとして登場します。(U・W旗・安全な航海を祈る)

この映画の舞台は東京オリンピック前年の横浜に住む純粋な高校生が主役なのですが、僕もこの昭和38年は中学3年生でして同じ年頃として何か自分とダブって見入ってしまいました。

もし、まだ見てない方がいましたら、ぜひご覧になってください。きっと純粋な涙とともに良い映画にめぐりあった感動がわきあがってきますよ。

そしてこの映画の名脇役としてのU・W旗を我がヨットにも掲げようと思い、早速購入し写真のようにきれいに展開しました。



1963年、横浜。

港の見える丘にあるコクリコ荘。

その下宿屋を切り盛りする16才の少女・海。

彼女は、毎朝、海に向かって、信号旗をあげる。

旗の意味は「安全な航行を祈る」。

タグボートで通学していた17才の少年・俊は、海の上からその旗をいつも見ていた。

「なかよし」（講談社刊）に連載された高橋千鶴・佐山哲郎による少女漫画をスタジオジブリが映画化。

宮崎駿が企画・脚本、「ゲド戦記」の宮崎吾朗が同作以来5年ぶりに手がける監督第2作。

海役に長編劇場アニメ声優初挑戦の長澤まさみ。

俊役は「ゲド戦記」に続き2度目のジブリ作品参加となる「V6」の岡田准一。



MCC海のたより9月号・MCC海のたより9月号・MCC海のたより9月号